

ふくろう通信

独立行政法人 労働者健康福祉機構

福島労災病院



- ◎地域医療支援病院
- ◎地域がん診療連携拠点病院
- ◎病院機能評価認定病院
- ◎臨床研修指定病院

第1号 平成20年8月1日発行



ふくろう通信の復刊に当たって

病院長 大谷 巖

福島労災病院では、患者様・一般市民向けの広報誌として、以前にふくろう通信を発行していた時期がありましたが、メディネットの設置時に廃刊しました。この度、当院の状況をより深く知っていただき、地域の方々にとって当院がより身近な存在となることを願って、内容を一新して季刊として復刊することにしました。

当院は、診療所との連携を深め、地域医療体制の中核を担う病院として、**地域医療支援病院**の承認を受けており、また、がん診療については、外来化学療法、緩和ケア、在宅医療（訪問看護）などの質の高い診療が受けられる病院として、**地域がん診療連携拠点病院**に指定されています。さらに**臨床研修指定病院**、**病院機能評価認定病院**として、最新の医療設備で信頼に答えています。

今後も「患者様が主役の医療の実践」を病院理念として、住民の方々にとって、より一層信頼される病院を目指して職員一同努力してまいりたいと思いますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。

福島労災病院理念

- ◎受ける人が主役の医療の実践
- ◎最善の医療・看護の提供
- ◎働く人の健康管理とリハビリテーションの実施

福島労災病院基本方針

- ◎病み痛むかたの目線で公平な医療を行います
- ◎常に研鑽して高質な医療を安全かつ確実に提供し信頼される病院づくりに努めます
- ◎永年にわたる勤労者医療の実績を活かし働くかたの健康維持と早期社会復帰に取り組みます

看護部からこんにちは！

初刊に寄せて

看護部長 石下 アヤ子



今年4月に赴任いたしました。

“いわき”は初めてですが、皆さんの笑顔とやさしさでこの地に慣れた感じでした。

この度、地域の皆様に向けての広報誌を発行することになりましたので、この機会に看護部で関わっている院外に向けた主な活動を紹介させていただきたいと思います。まず、病院内で実施している無料健康相談（今年度は6回予定）や、商工祭などで行う健康相談への参加です。当院の医師、臨床心理士などと共に、相談に応じておりますので気軽にご相談いただければと思います。

また、先日の岩手宮城内陸地震は記憶も新しいところですが、その後の電話での健康相談対応、毎年行っている「大規模災害における救助訓練」には多くの看護師が率先しトリアージや救急対応のシミュレーションへの参加や原子力防災研修講座を受講するなど、様々な研修や訓練を重ね地域への還元を考えています。

今後も皆様のお声に耳を傾けながら、日々の看護業務の充実はもちろん、看護部の理念に掲げている「地域の人々に信頼され選ばれる病院作り」に努力していきたいと思っております。

夏真っ盛りの毎日です。今月は^{ねっちゅうしょう}熱中症^{ねっちゅうしょう}についてのお話しをお届けします。

熱中症とは、体温が上昇することで、体内の水分や塩分が低下し、脳への血流も不足してその機能まで低下してしまう状態です。さらに重症化したものが熱射病です。

意外に知られていませんが、暑いからといって冷房の効いた部屋にばかりいて、汗をかかない生活をしている人が急に屋外に出ると発汗機能が正常に働かず、熱が体にこもり熱中症を起こすこともあります。そこで日頃から水分をこまめに取り、汗をかく生活も必要なのです。また、気温だけではなく湿度が高い時にも要注意です。

一見汗をかいていないと思っても^{ふかんじょうせつ}不感蒸泄^{ふかんじょうせつ}といって汗以外に呼吸や皮膚から蒸発する水分があるのです。

とにかく夏は、水分や休息をとり体調管理に努めましょう。



<ESWL（体外衝撃波腎尿管結石破砕術）

年間 400 例以上の治療実績を誇る！>

泌尿器科

泌尿器科外来は木曜日を除いた午前中に 2 名の医師で外来診療を行っています。泌尿器科の診察は患者様によっては泌尿器科医師の診察後、腹部超音波検査、レントゲン造影検査、内視鏡検査の全てを行うことがあります。そのため 1 人の患者様に要する診療時間が長くなることもあり、予約をとってある患者様でもお待ちいただくことがあり、ご迷惑をおかけしています。待ち時間を可能な限り短くするために効率の良い診療を心がけたいと思っています。

尿路結石、PSA 高値（前立腺癌の腫瘍マーカー）、尿路性器悪性腫瘍の患者様が多いのが当科の特徴です。尿路結石については自然排石が出来ない患者様については ESWL（体外衝撃波腎尿管結石破砕術）や経尿道的（内視鏡的）膀胱尿管結石破砕術を行っています。ESWL（体外衝撃波腎尿管結石破砕術）については年間 400 例以上の治療を行っています。

PSA 高値でご紹介される患者様も年々増加しています。前立腺癌が疑われる患者様は検査入院していただき経直腸的超音波検査、経直腸的前立腺針生検、内視鏡検査を行い前立腺癌の有無を検査しています。年間約 150 名の患者様が前立腺癌の疑いで検査入院をしていただいています。前立腺癌は近年増加しています。50 歳以上の男性は 1 年に 1 回は PSA 採血を行ったほうが良いと言われてしています。

尿路性器悪性腫瘍については腎細胞癌、腎盂・尿管癌、膀胱癌、前立腺癌の検査、治療、手術を行っています。膀胱癌に関しては膀胱温存を目標に経尿道的（内視鏡的）な手術を行っています。また、最近では前立腺生検の増加に伴い手術が可能な前立腺癌の患者様が増加しています。患者様のご希望があれば前立腺癌に対する根治手術も積極的に行っています。

これが福島労災病院泌尿器科世紀の医師軍団だ！



部長の濱崎（はまさき）です。「ハマ」ちゃんと呼ばれています。



第二部長の峯田（みねた）です。愛称は「みねちゃん」で～す。



医師の新坂（しんさか）です。真面目さが「ウリ」です。